

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

田辺市立高雄中学校（和歌山県）

【取組内容】 校務の効率化を目指した取り組み

①各資料のデジタル化

- ・ 職朝記事/職員会議資料を汎用ソフトにアップロード

②資料の共同編集ができるように調整

- ・ 行事予定/健康観察/欠席確認/その他資料をGoogleスプレッドシートに変更

いつでもどこでも誰でも編集できるようになる

月健康観察.xlsx

記入の方法 (1)下の枠に氏名をうつす欄に入力。(2)病状や体調の欄は「1」から「5」まで記入。(3)病状や体調の欄は「1」から「5」まで記入。(4)病状や体調の欄は「1」から「5」まで記入。

健康観察

職員室で常にモニターで表示

3学期欠席連絡票

欠席確認

③提出書類をアンケートで回答できるよう調整

- ・ 生徒・保護者・教職員アンケート/参観出欠/育友会総会等の承認/生徒会選挙投票/各種保護者の承諾書などを紙からGoogleフォームに変更

回収の負担軽減
集計が瞬時にできるようになる

④チャットの活用

- ・ 朝の連絡事項はGoogleチャットに掲載

必要時以外は職員朝礼を廃止
→職員にゆとりが生まれる

⑤動画配信

- ・ 防災講演会/入学説明会/入試説明会を動画サイトで配信

リーディングDXスクール事業

【実践事例】

田辺市立高雄中学校（和歌山県）

【取組内容】個別最適な学び・協働的な学びにつなげる学校全体の交流

クラウド環境を
用いた校務改善便利と感じた経験をもとに**生徒の学び**につなげる

授業で効果的であった
共同編集の事例について
Googleスプレッドシート
を用いて教員間で共有

スプレッドシート	振り返りのまとめ	ワークシートの振り返りをスプレッドシートに書いた。
forms	テストの自己評価・反省	formsを用いて、自己評価を行った。
学習支援アプリ...	授業の理解度チェック	授業の理解度を確認するために問題を出し、に提出させた。また提出したものの中で共有したいものや比較したい物などをピックアップし、全体に共有した。
スプレッドシート	経過観察	スプレッドシートに授業中に出した問題毎の理解度を選択させた。教師は生徒の進捗状況を把握できる。
学習支援アプリ...	読み取った情報を整理するため	読み手がかりとなる情報を教科書から抜き出し、図に整理した。整理したものをもとに変化を捉えさせたかった（が、やりきれない）。
学習支援アプリ...	情報整理と構成メモの作成	書くことにおいて、情報を集める→整理する→構成メモを作成する際に、デキストカードや各シンキングツール、PMI（構成メモとして）を用いた。

教科	各教科のリーディングDXに関する重点取り組み (生徒に付けさせたい情報活用能力など)	重点取り組みの達成のために、生徒の学び方はどうか。	今後の取り組み内容
国語	自分の考えを表現することができる	協働的な学び	ペアや班で考えたものを全体で共有する。そこからさらに考えを深め、答えを追求する。
社会	自分の考えを表現することができる	協働的な学び	スプレッドシート 学習支援アプリを活用し、他者の考えに触れながら活動を進めていく。
数学	授業の見直しをもつことができる 情報を収集するスキル	協働的な学び 個別最適な学び 指導の個別化	学習支援アプリを用い、段階的にヒントカードの活用し個別最適に・提出箱に答えを提出させ、共有している。→他の意見を見て、自分の考えに
理科	情報を収集するスキル 課題を設定するスキル 授業の見直しをもつことができる	協働的な学び	本時の流れ、自己評価基準をクラスルームに掲示する、スプレッドシートに自己評価と振り返り、アプリ以外で共有する方法、実験レポート：実験方法からすべて自分自分で

いつでも教職員が編集・追加できる環境の整備

→教職員間で授業に関する意見交換や話し合いが活発化

→クラウド環境を使うことに不慣れな教職員でも他教員の取り組みを参考にして活用

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

田辺市立高雄中学校（和歌山県）

【取組内容】 情報活用能力（タイピング技能）の向上

生徒のタイピング技能の向上



より効率的に文章やスライドの作成を行うことができる

③その中から表に記載してある自分の挑戦したいテーマを選び、タイピング ※定期的に全校でタイピングスコア対決をする予定です。それまでに力を

活動時間
(8:10～
8:20)

テーマ

しりとり（初級編）

なれていない人はここから挑戦しよう！

2文字
(やさしい)

2文字

3文字
(やさしい)

3文字

4文字
(やさしい)

4文字

5文字
(やさしい)

5文字

易

←

難易度

→

難

朝の時間を活用
して練習

4

5

6

8

9

10

11

スコアを記録することで
競い合いモチベーション
の向上に繋げる